

行事参加及び試合運営に関する申し合わせ事項

- 第 1 条 奈良県柔道連盟（以下「本連盟」という）の役員は、会則に従い本連盟の運営に貢献することを本義とする。このため、公益財団法人日本体育協会スポーツ憲章に基づいて作成された、全日本柔道連盟競技者規定に準拠するほか、本連盟の申し合わせ事項を遵守しなければならない。
- 第 2 条 本連盟が所管する大会・予選会・昇段・昇級試合及び形の講習会等に団体所属の会員を出場させる場合には、その団体責任者は必ず会場に出席すること。団体責任者が出席しない場合は、その所属の会員の試合出場並びに受講等は認めない。但し、この規定の適応範囲は高校以下を対象とし、大学及び一般は全日本柔道連盟に登録している者において参加を認める。
- 第 3 条 前条記載の団体責任者とは、本連盟に団体登録を行い会員の立場にある者とする。但し、団体責任者が都合で出席できない場合は、代理者を派遣すること。代理者は、学校においてはその学校の教職員とし、施設・道場においてはそれぞれの施設・道場に所属する者で、本連盟に指導者登録をしている者を原則とする。
- 第 4 条 本連盟の役員は柔道指導者としての自覚を堅持し、次の各事項に該当することがあってはならない。この定めた違反事項に該当する場合みは、処分委員会の議を経て懲戒処分を適用する。
- 第 5 条 一般観衆で会場の正常な秩序を乱す言動があった場合には、退去を要請することができる。この場合、その所属する団体責任者は、責任をもって当該者を会場より退去させなければならない。
- 第 6 条 この申し合わせ事項の改正は、理事会に諮り決定する。

平成 3 年 9 月 16 日 制定

平成 4 年 2 月 16 日 改正

平成 27 年 4 月 1 日 改正 施行